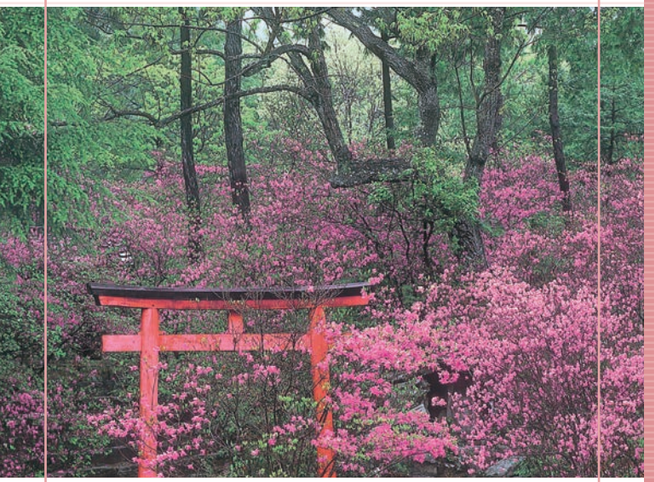
The walk map of the Rhododendron reticulatum

コバノミツバツツジ 散策マップ



萩の コバノミツバツツジ

市天然記念物「冨士神社のコバノミツバツツジ自生地」は、名電赤坂駅から県道「大代赤坂線」を約３㎞北上し、萩保育園の所で左に道をとり、進むこと３００ｍほどの山すそ約9,３００㎡（市指定面積）に広がっています。

「コバノミツバツツジ」が群生している一帯は、古くから冨士神社・庚申寺・善住禅寺の社叢として講仲間の方々によって維持・管理されてきました。当地には、約５ヘクタールに３万本が群生しているといわれています。花の時期ともなると、ヒノキやアカマツの緑の下に赤紫色の霞がたなびいたようなさまになり、素晴らしい景観を見せてくれます。その美しさは、昔も今も変わらないとみえ、萩音頭（作詞…吉ノ田こいと、作曲…蓮見誠）にも「冨士社御山はつつじの名所…」と歌われています。

「ミツバツツジ」というのは、枝先に葉が三枚輪生し、三ツ葉葵の紋のような形をつくることに由来するのですが、その仲間には「ミツバツツジ」をはじめ「コバノミツバツツジ」「トウゴクミツバツツジ」など１２種類もあります。

冨士神社は、祭神が「木花咲耶姫命」で、もと下賀茂神社の境内社として奉祀されていました。

今から約３８０年前の寛永９年（１６３２）社殿が現在地に創建され、明治２３年独立しました。

一方、庚申寺は、本尊・観世音菩薩、お前立ち・青面金剛童子で、創建は定かではないのですが、奉納された鰐口の銘が、元和９年（１６２３）とあることから、創立はそれ以前だろうと思われます。この寺は、はじめ社守をおいて守護してきましたが、明治の中頃から無住となりました。境内には、稲荷社や「役の行者」（奈良時代の人、修験道の開祖、大峰山を開いた人）の石像などがあります。

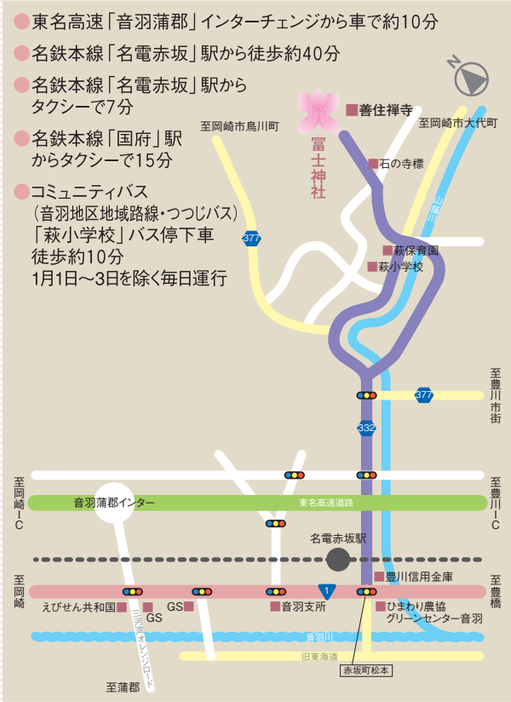
また、両社寺の創設にかかわる伝説を紹介しますと、寛永の頃、下賀茂神社（萩）の神饌用の水は、裏の川の水を用いていましたが、その水が濁ってきたので、神威を汚すおそれがあるということで、南の山麓「中村」に井戸を掘ることにしました。掘り進めていくうち、地中から青面金剛童子の霊像が現れたので、下賀茂神社末社「冨士社」内に安置しました。ところがある夜、同社社守の夢枕にあらわれ「我は五穀を司る神であるから、冨士王明神とともに、神田の浄地を選んで遷座せよ。四民とともに五穀と神田を護らん」と告げたのです。

翌日、中村の井戸から一匹の白蛇が現れ、里人を導いて、現在の庚申寺のあたりで消え失せました。里人はおそれをなして、早速、堂宇を建て、青面金剛童子を祀って「神護山庚申寺」とし、一段さがった所に冨士王大権現を遷座して「冨士神社」としたということです。

美しいつつじを眺めながら、この地にまつわる伝説に思いを馳せるのも一興ではありませんか。

交通のご案内

- 東名高速「音羽蒲郡」インターチェンジから車で約10分
- 名鉄本線「名電赤坂」駅から徒歩約40分
- 名鉄本線「名電赤坂」駅から タクシーで7分
- 名鉄本線「国府」駅 からタクシーで15分
- コミュニティバス （音羽地区地域路線・つつじバス） 「萩小学校」バス停下車 徒歩約10分 1月1日～3日を除く毎日運行



お問い合わせ先

豊川市商工観光課

〒442-8601　豊川市諏訪1丁目1番地
ＴＥＬ●0533-89-2140　ＦＡＸ●0533-89-2125
Ｈ　Ｐ●http://www.city.toyokawa.lg.jp/
E-mail●shoko@city.toyokawa.lg.jp

豊川市観光協会

〒442-0068　豊川市諏訪3丁目133番地　プリオ5階
ＴＥＬ●0533-89-2206　ＦＡＸ●0533-89-2276
Ｈ　Ｐ●http://www.toyokawa-map.net/

2019.3　10,000

コバノミツバツツジ 散策マップ

コバノミツバツツジの群生地

木の高さは約2m～3mほどの落葉低木で、葉は菱形に近く、4月上旬ごろ紅紫色の美しい花を咲かせます。

萩音頭にも歌われ、約三万本のコバノミツバツツジが、冨士神社・善住禅寺周辺の山林に群生し、里山の春を彩ります。

周辺マップ